



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年2月4日

上場会社名 株式会社 ツツミ

上場取引所 東

コード番号 7937 URL <https://www.tsutsumi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 互 智司

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 吉川 哲也

TEL 048-432-5510

四半期報告書提出予定日 2022年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,183	16.0	752	95.2	845	98.6	510	82.2
2021年3月期第3四半期	13,326	1.7	385	46.6	425	44.7	280	61.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	32.25	
2021年3月期第3四半期	17.16	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	67,316	65,918	97.9
2021年3月期	68,332	66,754	97.7

(参考)自己資本 2022年3月期第3四半期 65,918百万円 2021年3月期 66,754百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		15.00		15.00	30.00
2022年3月期		15.00			
2022年3月期(予想)				15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	11.5	850	29.1	950	36.2	560	32.2	35.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

第1四半期会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しており、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の数値となっております。なお、対前期増減率は、組替後の2021年3月期通期業績を基礎に計算しております。

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	20,080,480 株	2021年3月期	20,080,480 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	4,453,218 株	2021年3月期	4,073,463 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	15,829,072 株	2021年3月期3Q	16,327,437 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定量的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス新規感染者数がワクチン接種の進展等に伴い大幅に減少し、社会経済活動の制限が徐々に緩和されたことで緩やかな回復基調に転じつつあるものの、新たな変異株の出現による感染拡大等の懸念もあり、景気の先行きは依然不透明な状況となっております。

宝飾品業界におきましても、こうした景況を反映し、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況において、当社は、強みであるバーティカル インテグレーション システムを活かし、お客様のニーズに応えた品揃えを充実させ、お客様満足度向上につながる店づくりに取り組むことに注力いたしました。また、クリスマスシーズンには、「2021年ウィンター・リミテッド」や「2021年ウィンター・コレクション」など数多くの新作ジュエリーを販売するとともに、雑誌やSNS ツールを活用したプロモーションにも力を入れた結果、店舗売上高は昨年を超える状況で推移し、利益面につきましても店舗売上高の増加に伴い、昨年を上回る状況となっております。

その結果、売上高は12,183百万円(前年同四半期比16.0%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は752百万円(前年同四半期比95.2%増)、経常利益は845百万円(前年同四半期比98.6%増)、四半期純利益は510百万円(前年同四半期比82.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、67,316百万円となり、前事業年度末と比較して1,016百万円減少しております。

これは主に、売掛金が727百万円、建設仮勘定が201百万円増加したものの、預け金が901百万円、現金及び預金が744百万円、商品及び製品が104百万円減少したことによるものです。

負債の部は、1,397百万円となり、前事業年度末と比較して180百万円減少しております。これは主に、預り金が103百万円増加したものの、未払法人税等が154百万円、賞与引当金が121百万円減少したことによるものです。

純資産の部は、65,918百万円となり、前事業年度末と比較して836百万円減少しております。これは主に、利益剰余金が33百万円増加したものの、自己株式が866百万円増加したことによるものです。利益剰余金の増加は、配当金の支払に伴い減少したものの、四半期純利益の計上に伴い増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期の業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました通期の業績予想から変更しております。詳細につきましては、2022年2月4日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,437	37,693
受取手形及び売掛金	1,017	1,740
商品及び製品	12,765	12,660
仕掛品	515	451
原材料及び貯蔵品	2,171	2,178
その他	985	122
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	55,886	54,840
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,478	7,478
その他(純額)	896	1,051
有形固定資産合計	8,375	8,529
無形固定資産		
	330	274
投資その他の資産		
その他	3,741	3,671
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,740	3,671
固定資産合計	12,446	12,475
資産合計	68,332	67,316
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	184	122
未払法人税等	318	163
引当金	208	86
その他	784	952
流動負債合計	1,496	1,325
固定負債		
長期末払金	44	44
その他	36	26
固定負債合計	81	71
負債合計	1,577	1,397
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,098	13,098
資本剰余金	15,707	15,707
利益剰余金	47,129	47,162
自己株式	△9,193	△10,060
株主資本合計	66,741	65,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13	10
評価・換算差額等合計	13	10
純資産合計	66,754	65,918
負債純資産合計	68,332	67,316

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	10,504	12,183
売上原価	4,557	5,514
売上総利益	5,946	6,668
販売費及び一般管理費	5,561	5,916
営業利益	385	752
営業外収益		
受取配当金	1	22
受取家賃	38	36
助成金収入	-	36
その他	12	14
営業外収益合計	52	110
営業外費用		
支払手数料	11	17
その他	0	0
営業外費用合計	11	17
経常利益	425	845
特別利益		
投資有価証券売却益	7	-
保険解約返戻金	61	-
特別利益合計	69	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	8	16
特別損失合計	8	16
税引前四半期純利益	486	828
法人税、住民税及び事業税	133	260
法人税等調整額	72	57
法人税等合計	206	318
四半期純利益	280	510

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式379,600株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が866百万円増加しました。

この自己株式取得等により、当第3四半期会計期間末において自己株式が10,060百万円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、代理人取引に係る収益認識について、取引先等に対する支払額を売上原価として計上しておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。また、顧客へのオプション付与制度に係る収益認識について、顧客へ支払われる対価の一部を販売諸費・手数料(販売費及び一般管理費)として計上しておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。

当該会計方針の変更は、原則として遡及適用され、前年四半期及び前事業年度については遡及適用後の四半期財務諸表及び財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第3四半期累計期間の売上高は2,822百万円減少し、売上原価は2,733百万円減少し、販売費及び一般管理費は88百万円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期財務諸表への影響はありません。